

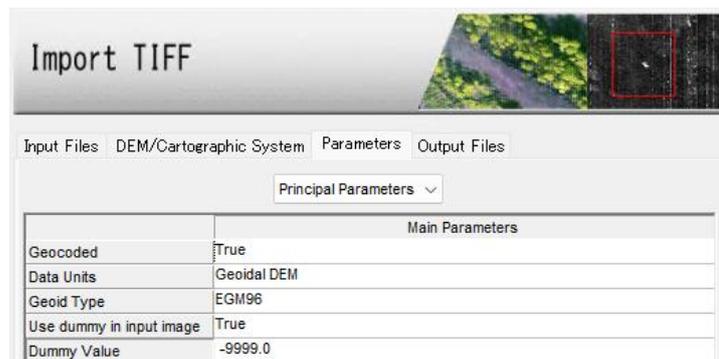
## SARscape 6.1 国土地理院 DEM のインポートについて

はじめに、国土地理院が公開している基盤地図情報の数値標高モデルを GeoTIFF フォーマットに変換してください。この変換に関しては、お客様での作業をお願いしておりますが、弊社では ENVI ユーザ様向けに数値標高モデルの xml ファイルから GeoTIFF 画像に変換するツールを無償で提供しています。このインポータは、数値標高モデルの 5m メッシュ(5A, 5B, 5C)と 10m メッシュ(10B のみ)に対応しています。変換ツールの入手方法は、担当営業にお問い合わせ下さい。

### ・外部 DEM(GeoTIFF)のインポートについて

SARscape の処理に使用する全てのデータは、SARscape の Import からインポートして.sml ファイルが作成されている必要があります。数値標高モデルを変換した GeoTIFF ファイルも、SARscape の Import Data > Other Format > Tiff にてインポートしてください。以下に詳細な手順を記載します。

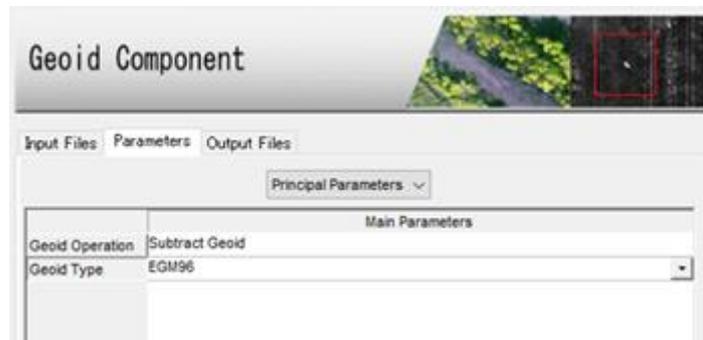
1. ENVI ツールボックスの SARscape の Import Data > Other Format > Tiff を起動します。
2. Import Tiff ツールが起動しますので、以下のパラメータを入力し、exec ボタンでツールを実行します。(ツールは自動で閉じることはないので、処理が完了したら手動でツールを閉じてください)



タブ名	項目と設定値	備考
Input Files	入力ファイル(TIFF 形式)	
DEM/Cartographic System	Output Projection: WGS-1984 など Reference Height:0.00	元の投影法を維持する場合は、From Dataset  ボタンを使用して ENVI で開いた入力 TIFF ファイルを選択し、同じ投影法が設定されるようにします
Parameters	Data Units: Geoidal DEM Dummy Value: -9999.0	<ul style="list-style-type: none"> <li>•Geoid Type はここではどちらでも可</li> <li>•無効値は取り扱うデータによって変化します。国土地理院の DEM では、デフォルト値は -9999.0 です。</li> </ul>
Output Files	出力ファイル名	<ul style="list-style-type: none"> <li>•出力ファイル名の末尾を_dem と指定すると、後に SARscape 処理のファイル選択で扱いやすくなります。</li> <li>•ファイル名の変更後は Enter キーで確定させてください。</li> </ul>

3. SARscape で DEM を取り扱う際は、楕円体高である必要があります。そのため、国土地理院の DEM といった標高値

で定義されているものは、楕円体高へ変換します。ENVI ツールボックスより、SARscape→General Tools→Cartographic Transformation→Geoid Component を起動します。必要なパラメータを設定し、exec ボタンで実行します。



タブ名	項目と設定値	備考
<b>Input Files</b>	入力ファイル	SARscape にインポートした DEM ファイルを指定します。入力ファイル名は _dem でフィルタがかかっているため、表示されない場合にはファイル選択ダイアログで[*_dem]を[*.*]に変更して表示されるかご確認ください。
<b>Parameters</b>	Geoid Operation: Subtract Geoid Geoid Type: EGM96	・ジオイドの影響を差し引く、という意味で標高から楕円体高への変換は「Subtract Geoid」を設定します。
<b>Output Files</b>	出力ファイル名	・出力ファイル名の末尾を_dem と指定すると、後に SARscape 処理のファイル選択で扱いやすくなります。 ・ファイル名の変更後は Enter キーで確定させてください。

4. 以上の作業にて、DEM のインポートが完了です。SARscape 内の処理で DEM が必要な場合に作成した DEM をご利用ください。